



力をあわせて！ 経験と実績・情熱と行動力

令和6年度一般会計当初予算580億5千万円（前年度比3.5%増）

令和6年度の一般会計当初予算は17年連続の増額、過去最高の580億5千万円を計上し、前年度比3.5%、19億5千万円の増額となります。当初予算の概要のうち、歳入では定額減税による市民税の減収が見込まれ、市税が（前年度比1.1%）約2億6千万円の減額となり、約220億4千万円を計上し、歳入全体に占める割合は38.0%となります。

第5次三郷市総合計画前期基本計画に掲げる3つの重点テーマごとの主な事業の1つ目のテーマ「持続可能な拠点の形成～まちづくりは道づくり～」では、「災害応急対策事業」として、トイレトレーラーを導入。また、「南部地域拠点防災コミュニティ施設整備」を進め、そして、歩道の無い道路に歩車道境界ブロックを設置するなど、通学路の安全対策を進めます。2つ目のテーマ「多様性のある地域の確立～地域コミュニティの充実～」では、市役所の各種申請書を自動で作成できる「スマート窓口」の導入部署を拡大。また、デジタル化を推進します。3つ目のテーマ「質の高い教育と切れ目のない子育て支援の強化～子どもたちの成長を見守る・夢を育む～」では、早産や低出生体重児の出生を予防するための妊婦対象の無料個別歯科健康診査の実施。子育て家庭や妊婦、ヤングケアラーのいる家庭にヘルパーを派遣・支援し、虐待を予防すると共に養育環境を整備。宿泊型産後ケアにプラスして新たに通所による産後ケアの開始。子を出産した保護者にプラスして妊婦に対してもタクシー、バス、ガソリン補助から選べる1万円分の利用券を配布。認可保育園などでの障がいのある児童などの預りを促進。新たに整備の瑞沼学校給食センターで令和7年1月から中学校給食の提供開始等々、様々な事業を展開いたします。

私たち21世紀クラブは、市民の皆様が安全で安心して暮らせる、快適で住みよいまちづくりを念頭に、精進して参りますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表挨拶

市議会会派21世紀クラブ代表の菊名裕です。

日頃より市民の皆様には大変お世話になっております。恒例になりました「21世紀クラブ」広報誌「結」新年度号を皆様のもとへお届けし令和6年度の傾向をお知らせいたします。

さて、昨年11月より政界を大きく揺るがす自民党派閥の政治資金パーティーをめぐる事件が世間を騒がせており、それに伴い内閣支持率も下げ止まらず、政治不信の報道は続いております。私も市政に携わる一人として政治家の倫理観崩壊に対し危惧の念を抱いている処であり、この機が統治改革の転換点となる事を期待する所でもあります。

また、元日に発生した「令和6年能登半島地震」は多くの方が被災され、未だに爪痕を大きく残しており、被災された方々に対し心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願うところです。当市における危機管理に関して我々は、積極的に携わってはおりますが、災害に対する緊張感は常時忘れてはならないと再認識致した処であります。

我々21世紀クラブは、市民の皆様からの信頼を裏切る事無く真摯に市政に取り組み、今後も皆様の安心安全を担保する環境作りに、より一層取り組んで参ります。

最後になりますが、今後も「21世紀クラブ」メンバー6名は市民の皆様への安心安全はもとより、想いや要望が一つでも多く現実となり、より良い環境で市民生活を送れるように議員活動に邁進して参ります。今後とも共共「21世紀クラブ」に対し暖かいご支援をお願い申し上げます。代表挨拶とさせていただきます。

21世紀クラブ代表 菊名 裕



岡庭 明

住所:三郷市鷹野4丁目59番地1

電話:048-955-4412

- ・21世紀クラブ相談役
- ・建設水道常任委員
- ・三郷早稲田北部地域拠点整備対策委員
- ・三郷南部地域拠点整備対策委員



菊名 裕

住所:三郷市戸ヶ崎3丁目273番地3

電話:048-955-2733

- ・21世紀クラブ代表
- ・文教経済常任委員
- ・東埼玉資源環境組合議会議員
- ・三郷南部地域拠点整備対策委員
- ・三郷中央地区周辺対策委員



加藤 英泉

住所:三郷市三郷2丁目1番地9

電話:048-957-0962

- ・総務常任委員
- ・三郷早稲田北部地域拠点整備対策委員
- ・三郷インターチェンジ周辺対策委員



柳瀬 勝彦

住所:三郷市さつき平2丁目2番地2-905

電話:048-959-1396

- ・健康福祉常任委員
- ・都市計画審議会委員
- ・三郷早稲田北部地域拠点整備対策委員
- ・三郷インターチェンジ周辺対策委員



渡邊 雅人

住所:三郷市三郷1丁目28番地2-B102

電話:090-9634-9361

- ・総務常任委員長
- ・江戸川水防事務組合議会議員
- ・三郷早稲田北部地域拠点整備対策副委員長
- ・三郷中央地区周辺対策委員



一色 雄生

住所:三郷市谷口152-203

電話:080-3421-1997

- ・文教経済常任委員会
- ・議会だより編集委員
- ・三郷南部地域拠点整備対策委員
- ・三郷中央地区周辺対策委員

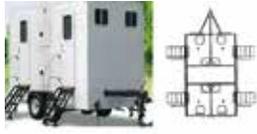
令和6年度予算 主要な事業

21世紀クラブ提案赤

新規 災害時応急対策事業

危機管理防災課

災害発生時のトイレ不足解消を図るため、トイレトレーラーを購入します。災害時の応援協定を締結している他自治体での利用もでき、避難所の衛生環境向上が図れます。



新規 土地区画整理支援事業

まちづくり事業課

三郷料金所スマートIC周辺地区概略事業計画等の検討を行います。地域住民に対して土地区画整理の説明会などを行っています。



新規 文化施設管理等事業

市民活動支援課

三郷市文化会館におけるホール棟の天井について耐震強化や設備の改修の必要があることから、令和6年度及び7年度の2か年で改修工事を実施します。



新規 介護予防事業

長寿いきがい課

図書施設において言語聴覚士等の専門職が関わる朗読会を開催することにより、高齢者の外出や参加者同士の交流を促し、認知症・口腔フレイル・社会的フレイルを予防します。



新規 認知症総合施策事業

長寿いきがい課

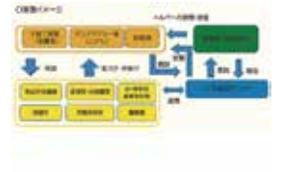
高齢者が生きがいを持つことで人生を豊かに暮らしてもらうため、読書や図書館の利用を通じて地域高齢者同士の交流を図ります。また、回想法や各種の認知症予防事業を開催します。



新規 子育て支援事業

子ども支援課

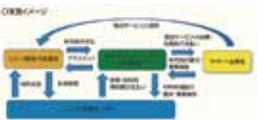
子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭が抱える家事・育児等の不安や負担軽減のため、家事や育児を支援するヘルパーを派遣することにより、養育環境を整えます。



新規 ファミリー・サポート・センター事業

子ども支援課

ひとり親の保護者等が、疾病・介護等により一時的に養育困難となった場合に、緊急サポートセンターの宿泊サービス等を活用して児童を預けた際の利用額の助成を行います。



新規 小・中学校適正規模適性配置事業

教育総務課

通学区域について、通学区域編成審議会へ諮問します。



新規 中学校給食運営管理費

学務課

中学校の完全給食の実施と、食育推進についても学べる市民にも開かれた給食センターとしての運営管理を行います。災害時には防災拠点として瑞沼市民センターと連携します。



新規 いじめ不登校対策事業

指導課

学校でのいじめ等の諸問題解決に向けてスクールロイヤーを配置し、法的かつ中立的な立場で助言してもらうことができる体制を整えます。



新規 地域クラブ活動整備事業

指導課

中学校部活動の地域移行を推進するため、部活動地域移行サポーターを配置し、外部指導者や関係諸団体との円滑な調整を図ります。



新規 日本一の読書のまち推進事業

日本一の読書のまち推進課

子ども読書活動の支援と1人でも多く子ども達に読書の楽しさを実感してもらうため、出版社主催の「全国訪問おはなし隊」が市内全小学校・保育所を訪問し読み聞かせを行います。



新規 防災行政無線更新整備事業

危機管理防災課

より多くの住民へスピーディーな情報共有ができるようにするため、固定系防災行政無線操作卓の更新を行います。



新規 災害応急対策事業

危機管理防災課

災害対策本部となる市役所会議室等に、非常電源コンセントの新設、電話回線の増設等を行い、発災時の本部機能を強化します。



新規 住民基本台帳事務事業、収納管理事務

市民課、収納課

マイナンバーカードの取得推進や利便性向上等を目的として、住民の身近にある郵便局や行政書士の活用、コンビニ交付証明書の手数料の減額が行われます。



新規 犯罪被害者等支援事業

生活安全課

犯罪被害者等に見舞金が支給されます。(遺族見舞金30万円/件、傷害見舞金10万円/件)



新規 スポーツ教室事業

スポーツ振興課

JOCパートナー都市協定に基づき、JOCと共催のもとオリンピックデーラン事業が開催されます。



新規 高齢者への個別的支援事業

健康推進課

75歳を境としない保険事業の継続と地域支援事業(介護予防)の一体的実施が行われます。令和6年度は南部第4・5・6圏域を優先地域として実施されます。



新規 治水対策普及啓発事業

河川課

治水施設の役割等を知って頂くための、ららほっとみさと等におけるパネル展示の実施や、新和調節池における照明設備の段階的設置が実施されます。



新規 住宅施策推進事業

都市デザイン課

国の法改正を踏まえた管理不全空き家の認定と、財産管理制度を活用した管理不全状態の空き家について対策の強化が図られます。



新規 青少年育成事業

青少年課

子ども司書や読書ボランティアの団体に参加してもらい、キャンプファイヤーの火を囲んだりリラックス空間の中で読み聞かせを行う読書プログラムが取り入れられます。

